

第4号

ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 072 - 953 - 3881 FAX 072 - 953 - 3882
 <発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583 - 0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

新園舎2年目

気持ちをおあらたにして

「みんなが『学園きれいになったなあ』って言うてくれてうれしかった。」

「1人部屋になってよかった。自分のおりたいたいときにおれていい。」

「今の学園はいい所だから好きです。風呂もトイレもきれいで、遊ぶところも広いし、食堂も広いしグループごとに楽しく食べれているからうれしいです。」

「新しい学園をもっと大切に使用していきたいと思っています。」

「おかげさまで、新園舎での生活がはじまって1年が過ぎました。冒頭に掲げたのは、「新しい学園になって」という作文にある子どもたちの声の一部です。新園舎での生活のうれしさをさまざまに表してくれています。この子どもたちの喜びは、そのまま職員の喜びでもあります。生活環境が良くなること、子どもの気持ちの落ち着きや安心感につながっていることを日々実感しております。」

さて、学園では3月末に5人の子ど

もが卒園し、そして4月から児童

数91人（幼児9人、小学生37人、

中学生26人、高校生19人）と職員

数41人で、2010年度のスタートをきりました。新園舎に少し住み慣れた2年目ということ、なお一層住環境を生かした取り組みをしていきたいと思ひます。

一番早い取り組みとしては、「第46回たかわし子どもまつり」

の開催があります。学園では、毎年地域との交流の場として45年も続けられている行事であり、学園の子どもたちはもちろん、地域の子どもや大人の方々にもとても楽しみにしていただいています。建て替え中は中断しましたが、来る5月30日（日）に3年ぶりに開催いたします。

このところ、虐待によって子どもの命が奪われる事件が毎日のように報道されています。でもこれは氷山の一角で、たくさんの子ど

もたちが育ちにくい環境に置かれていることの表れではないでしょうか。子どもまつりで親子や家族、地域の人たちと楽しい一日を過ごす中で、子どもたちが健やかに、すくすくと育つ環境とはどうあるべきか、ということも考えていければと思います。たくさんの方たちの参加をお待ちしております。今年度も高鷲学園をどうぞよろしくお願ひいたします。

（園長 瀬川 佳成）



今年の特集

3月21日に2009年度の卒業卒園を祝う会を開催しました。

今年度は幼稚園生から中学卒業生22名と卒園生5名を祝う会となりました。

第一部では、幼稚園、小学校、中学校、支援学校より、それぞれお世話になった先生方に出席していただき、心温まるお祝いの言葉をいただきました。

卒業生からは、将来の夢や進学したらどんなことをしたいか、こ

れからの抱負を聞くことができました。

卒園生からは、今までの学園生活を送ってきた仲間たちや、職員への感謝の気持ちや、普段感謝の気持ちをあまり表現しない子から「今までありがとう」という言葉が聞け、職員も感慨深い思いになりました。

そして在園生代表の子からは送る言葉として、卒園生への応援メッセージがありました。卒園生は一言一言聞き逃さないよう真剣な表情で聞き入っていました。



そして在園生代表の子からは送る言葉として、卒園生への応援メッセージがありました。卒園生は一言一言聞き逃さないよう真剣な表情で聞き入っていました。



からは「ウワア〜」と歓声が上がりました。最後に、卒業生、卒園生は皆から拍手で見送られて退室します。

第二部では、調理職員が思いを込めて作った手作りのごちそうを皆でお腹一杯食べました。食後には、各ブロックでこの日の為に練習してきた在園生から歌のプレゼントがありました。その後は、卒園生一人ひとりのスライド上映が長期間学園で生活してきた子は幼児さんのお自分でも覚えていた頃の写真に「みんなに小さかったんやなあ」と懐かしんだり、在園生からは「ウワア〜」と歓声が上がりました。最後に、卒業生、卒園生は皆から拍手で見送られて退室します。

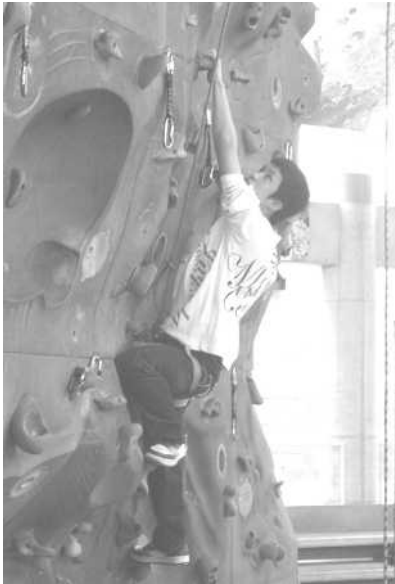


子どもと職員がこの日の為に準備をし、力を合わせて開催する祝う会では、子どもたちの成長した姿に驚かされ、この仕事をしていて本当に良かったと心から思える一日でした。
(学童ブロック 矢野川きよみ)

ブロック旅行

高鷲学園では毎年3学期の終業式が終われば、一年の最後に、各ブロックに別れて一泊二日のブロック旅行へと出かけます。

今年の2Fブロックは、滋賀県のびわ湖こども国へ行ってきました。あいにくの天気で、雨が降っており、外で遊ぶことはできませんでしたが、屋内にもトランプやトレーニングルーム、ロッククライミング等の遊具がたくさんあり、小学生だけでなく中高生職員も楽しむことができました。ロッククライミングでは4名の



男子が挑戦し、見事に2名が頂上まで到達しました。日頃できない遊びができ、子どもたちの笑顔がはじけていました。

日常から離れた場所で、大きな琵琶湖を眺めながら、ゆっくりとした時間を子どもたちと過ごすことができました。(学童ブロック)

杉原由実子

新しい仲間たち



森川葉月 (幼児ブロック) 小中学校時、児童養護施設で暮らす子どもたちと共に学校生活を送ってきたこともあって、児童福祉の仕事に就きたいと学園を志望しました。特技は珠算、暗算で、最近の趣味は水泳競技やバレーボールの観戦です。子どもたちと元気に明るく頑張っていきたいです。



鈴木裕規 (幼児ブロック) 以前24時間の託児所で働いていましたが、もっと子どもと接したいと思い、この高鷲学園に通わせて頂くことになりました。働くにあたり、子どもの成長を見守りながら、自分自身も成長していけるように日々過ごしていきたいです。



尾方麻里奈 (学童ブロック) 見学時に良い雰囲気施設に惹かれ働きたいと思いました。特技は中高と部活動でやってきたソフトテニスです。趣味は音楽を聴いたり歌うことです。高鷲学園の職員として責任感を持ちながら、元気に明るく子どもたちと関わっていきたいです。



安井拓 (学童ブロック) 4年制の大学を卒業後、2年の社会人経験を経て、保育の短期大学へ入りなりました。年は今年で28歳になります。福祉職は初めてですが、職員の姿を見ながら日々勉強していきます。子どもたちの言葉に耳を傾け、間違っていることは、間違っていると正せる職員になりたいです。



熊本容仁 (調理ブロック) 佐賀県出身の熊本です。色々学ぶことが多く忙しい日々を過ごしています。趣味は音楽を聴いたり、歌ったり、ライブに行くことです。また、体を動かすのも好きです。これからは早く仕事に慣れて、おいしい食事を作れるように頑張っていきたいです。

寄付金・寄贈・招待をいただいた方
(2010年1月～3月)
ありがとうございました。

(敬称略)

寄付金

A・S(羽曳野市)

M・N(大阪市)

匿名

羽曳野市遊技業組合

羽曳野市更生保護女性会

塚本基金(普通免許取得費)

寄贈

(有)西神飯店(ビーフカレー)

浅田満(巻き寿司)

(株)ニトリ(ランドセル)

手作りボランティアハニービー(手さげ袋)

(有)イントウコーポレーション(スプーン)

フォークセット)

ボランティアS・O・V(雑巾)

資生堂社会福祉事業財団(シャンプー)

ソープ)

羽曳野市更生保護女性会(石鹸・タオル)

大阪そねざきロータリークラブ(印鑑)

ボランティアサークルもみの木(手さげ袋他)

(株)ラミーコーポレーション(ランドセル)

(株)ラミーコーポレーション(ランドセル)



手作り 行楽弁当

調理ブロック

新年度が始まり、花見を楽しみながら新しい職員と子どもたちとの交流を深めるため、学園全体で大泉緑地に出かけます。

以前は、ほか弁を購入して行楽に持って行っていたのですが、数年前から「安心・安全で心温まる食事」の実現のために、調理場の手作り弁当を導入しました。

早朝から140食ものお弁当を作る調理場内は、まるで戦争のような忙しさです。それでも、青空の下できれいな桜を見ながらみんなでそのお弁当を食べるとその苦労や疲れも吹っ飛びます。

そして何より、子どもたちの「おいしかった」の一言がまた来年も頑張ろうと奮起させてくれます。
(栄養士 山中教恵)

NHK歳末たすけあい義援金の 配分による事業完了のお知らせ

このたび社会福祉法人大阪府共同募金会から配分を受け、以下の事業を完了致しました。ご支援を賜りました関係者の皆さまに感謝の意を表します。

記

一、事業名 入進学準備品購入

一、購入備品 文具 制服 体操服

等 配分金額 133,000

一、施設名称 高鷲学園

一、完了年月日 平成22年3月31日

社会福祉法人大阪福祉事業財団

理事長 寶 徳左

ほっとひとこと

新年度がスタートしました。幼児ブロックから学童へ上がったきた新一年生。小学校や中学校を卒業し、新たに中学生・高生になった子どもたち。慣れない制服に袖を通し、初々しい姿を見せてくれます。ずつと子どもたちを見てきた職員は、子どもたちの成長した姿に喜び、子どもたちは緊張しながらも、少し誇らしげな表情を見せてくれました。
若林康一